

| | | | | | | |
|--------------|-------|--|------|------|------|------|
| | | <p>訪問先: キンキ寝具株式会社</p> <p>審査内容: (1)本プロジェクトが、プロジェクト申請書及び同別紙モニタリング計画書並びにモニタリング報告書(Ver.1.0)記載の通り実施されているかの確認を現地視察、プロジェクト関係者へのインタビューにより実施。特に、モニタリング体制、計測機器の精度チェック状況、並びに QA/QC 体制について確認した。 (2)モニタリング報告書記載の算定結果を集計データによってチェックすると共に、その適格性(適用デフォルト値を含む)、計測器の精度チェック記録について検証をおこなった。特に、 <ベースライン排出活動> ガス使用量、各実測値、算定結果、精度チェック記録 <プロジェクト排出活動> 本プロジェクトにおいて設置した装置は、電気、燃料を使用しないため、プロジェクト排出量は計上できない事を現地で確認した。</p> | | | | |
| 排出削減・ 吸収量 | 年度 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 |
| | t-CO2 | 15 | 80 | 122 | | |
| 検証結果の要約 | | <p>JACO CDMIは、本プロジェクト実施前は廃棄していたフラッシュ蒸気を回収し、連続洗濯機の洗濯水の加熱(消毒処理等)に利用するとともに、これまで廃棄していた洗濯排水や真水で希釈して再利用していた低温濯ぎ水の廃熱を再利用して連続洗濯機の余熱に利用することにより、連続洗濯機で使用する蒸気量を削減する本プロジェクト活動に関して、モニタリング期間(2009年1月4日～2010年12月30日)における温室効果ガス排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、本プロジェクトに関する「モニタリング報告書」(Ver.1.6)は、「モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用)(Ver2.1)」、ポジティブリスト及び方法論(E006「低温廃熱回収・利用」Ver.4.0)に準拠していることを確認した。</p> <p>また、同報告書に記載された温室効果ガス排出削減量217t-CO₂は、プロジェクト申請書及びモニタリングプランに基づいて算定されており、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドラインに規定する重要性の判断基準である5%以内であることを確認した。</p> <p>以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p> | | | | |

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。